

「仙台市交流人口ビジネス活性化戦略2024」骨子案

戦略策定の趣旨

人口減少が予想される厳しい環境の中、本市の地域経済を持続的に活性化させるための大きな柱である「交流人口」について、新型コロナウイルス感染症による影響からの早期回復と、さらなる拡大を目指すことを目的に策定するもの。

期間

3年間（2022年度～2024年度）

現行戦略の取組み

- 1,000本の体験プログラム創出
- 朝タコンテンツの創出
- ビジネス表彰による新たな事業の発掘・創出支援
- ターゲットを定めたインバウンド施策
- 安心・快適に過ごせる環境づくり
- 東北の食の発信、観光案内所ネットワーク化

etc.

コロナ禍と社会の変化

- ビジネスによる旅行需要の減少
- デジタル化の進展
- マイクロツーリズムの再評価
- オンライン会議の普及
- 個人旅行の増加
- 新たな旅行ニーズの発生

etc.

宿泊者数の動向

- 仙台市の宿泊者数は、2019年まで増加傾向にあったが、2020年はコロナ禍で激減。



※「仙台市統計データ」（仙台市）

- 宮城県内のビジネス客中心の宿泊施設の宿泊者数の増加割合は全国より大きい一方、観光客中心の宿泊施設の宿泊者数の増加割合は、全国より小さく、2010年の水準を下回っている。

【コロナ前の宿泊者数の増減傾向（2010年に対する2019年の宿泊者数の割合）】

	全宿泊施設	観光客中心の宿泊施設	ビジネス客中心の宿泊施設
宮城県	約1.2倍 (約3.0倍)	約0.9倍 (約2.0倍)	約1.6倍 (約3.7倍)
全国	約1.4倍 (約4.2倍)	約1.4倍 (約5.5倍)	約1.4倍 (約2.7倍)

※()内の数字は、うち外国人宿泊者 ※「宿泊旅行統計調査」（観光庁）のデータをもとに算出

本市を取り巻く現状

長期化するコロナ禍への対応

個人旅行者の旅行動機等を深堀りする必要性

体験プログラムの周知不足

変化するビジネス出張などの宿泊ニーズへの対応

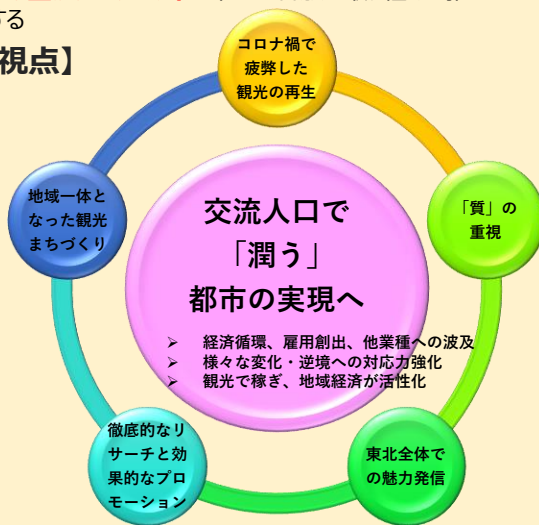
全国に比べ、伸びが少ない外国人宿泊者数

「仙台」「東北」の認知度不足

東北一体となった魅力発信の不足

交流人口で「潤う」都市を目指し、5つの視点に基づき4つの重点プロジェクトを中心に各般の取り組みを推進する

【視点】



【取組方針】

交流人口ビジネスの再生を図るために、まずは東北域内交流の活性化を図りながら、地域の魅力の再発見・磨き上げに取り組むとともに、インバウンドの早期回復を目指す。
徹底的なりサーチと効果的なプロモーションや長期滞在・再訪率向上に繋がる取組みなど、交流人口の「質」を重視した施策を多様な関連事業者等と連携して展開することで、持続的に潤う都市づくりを進める。

【重点プロジェクト】

TOHOKU as ONEプロジェクト

- ・地域の文化、歴史、産業、暮らしを体感する「人と文化のローカルツーリズム」の推進
- ・整備が進む高速自動車道を活用した新たな観光ルートを創出する「東北ロードトリップ」など東北周遊の推進
- ・東北夏まつり全国プロモーション

インバウンドStep Upプロジェクト

- ・タイ・台湾からの誘客の早期回復と市場の多角化に向けたプロモーション強化
- ・「仙台・東北の自然・食・体験で健康になる！」ウェルネスツーリズムの推進
- ・地域一体での「ロングステイ」受入環境向上

「観光×デジタル」プロジェクト

- ・「デジタルマーケティング」による徹底したリサーチと効果的なプロモーション
- ・公共交通、観光施設、飲食店等の検索・予約・決済をスマホで一括して行える「仙台MaaS」の推進
- ・ドローンや動画等を活用した情報発信の強化

交流人口ビジネス事業者連携プロジェクト

- ・関連事業者・団体、行政が、課題共有・意見交換をし、連携する場づくり
- ・表彰や広報支援、助成等により、交流人口ビジネスを支援する「交流人口ビジネス表彰」
- ・本市を取り巻く状況の変化と戦略の進捗を客観的データにより把握「交流人口実態調査」

取り組みの成果を測るための**達成目標**と、本市を取り巻く状況の変化を把握するための**モニタリング指標**を設定し、戦略の進捗状況を把握。

【達成目標】

項目	2019年	2020年	2021年	目標値
延べ宿泊者数(本市)	約624万人泊	約357万人泊	集計中	650万人泊(仮) (2024年)

【モニタリング指標】

項目	2019年	2020年	2021年
外国人延べ宿泊者数(本市)	約34万人泊	約7万人泊	集計中
客室稼働率(本市)	約74%	約45%	集計中
コンベンション開催件数(本市)	671件	152件	集計中
日本国内の旅行消費額	約27.9兆円	約10.7兆円	集計中
仙台市内の旅行消費額	—	—	—
旅行の満足度(本市)	—	—	—
リピート意欲率・実績率(本市)	—	—	—

新たに調査

成果指標

課題

戦略の視点と重点プロジェクト

重点プロジェクトと主な事業イメージ

※現在検討中の事業アイデアです。

TOHOKU as ONEプロジェクト

東北のゲートウェイ都市として、東北の豊かな資源を活用し、広域周遊による域内観光の活性化と、東北一体となった情報発信による国内外からの誘客促進を図ります。

人と文化を基軸としたローカルツーリズム

- ・地域の文化や歴史的背景、産業、人々の暮らしを体験していただくツーリズム
- ・現地の「人」との交流を重視

東北ロードトリップ推進

- ・広大なエリアに点在する東北を車で周遊いただく旅を推進

東北周遊モデルコース発信

- ・本市宿泊の東北周遊モデルコースを発信
- ・一般消費者を巻き込んだ情報発信(SNS)

美酒・美食のまちプロジェクト

- ・東北の誇る「食」による誘客促進

東北のまつりを活用した誘客

- ・「まつり」自体が各地を周遊するなど、「まつり」を活用した東北の魅力発信

「観光×デジタル」プロジェクト

デジタル技術の活用により、変化するトレンドやニーズを的確に捉え、戦略的なプロモーションや来訪者が快適に旅行できる環境づくりを進めます。

デジタルマーケティング強化

- ・観光満足度調査
- ・動態データのさらなる分析
- ・DMP（データマネジメントプラットフォーム）運用
- ・インバウンドの視点強化

仙台MaaSの活用

- ・移動手段やイベント、飲食店、観光施設等の検索・予約・決済までをスマートフォン等で一括して行う仕組みを活用した利便性・回遊性向上

認知度向上のための広報媒体作成

- ・仙台市の認知度向上に向け、様々な視点で本市の新たな魅力を発見できる映像の作成
- ・複数の動画クリエイター、ドローンパイロット、フォトグラファー等を招待するコンテストなどを検討

交流人口ビジネス事業者連携プロジェクト

多様な事業者による連携を拡大・強化することにより、経済面のみならず、文化・社会面で持続的に発展できる観光まちづくりを進めます。

観光関連事業者同士の連携促進

- ・観光関連事業者向けの研修会や施策説明など、本市が把握した交流人口実態調査結果の共有・把握を行うとともに、事業者が「顔を合わせる場」を設置
- ・観光地域づくり法人(DMO)の設置検討

交流人口ビジネス表彰

- ・ビジネスの優良事例やアイデアを表彰
- ・事業者同士のビジネスマッチングの場を創出

インバウンドStep Up プロジェクト

重点市場であるタイ・台湾のインバウンド回復に優先的に取り組むとともに、仙台・東北の「自然」「食」「体験」を活用した誘客と、「ロングステイ」を見据えた受入環境の整備を進めます。

プロモーションの推進

- ・タイ・台湾へのプロモーション強化
- ・東南アジアなど、訪日客増加を見据えた誘客の多角化
- ・デジタルを活用した効果的な情報発信

観光コンテンツの磨き上げ

- ・「自然」「食」「体験」によるウェルネスツーリズムの推進
- ・世界に誇る「仙台の食」を活用した魅力発信
- ・SDGsへの貢献と持続可能な(サステナブル)な観光

インバウンド対応力向上に向けた事業者支援

- ・「ロングステイ」を見据え、地域事業者が一体となった受入環境の向上
- ・コンサル派遣等による事業者への受入環境整備と人材育成支援

重点プロジェクト以外の主な事業

需要喚起策

- ・宿泊促進キャンペーン、企業内会議・研修会(MICE)に対する助成等の需要喚起策
- ・閑散期対策・連泊促進の視点追加
- ・状況によりインバウンド追加

広域集客イベント開催支援

- ・感染症対策を講じて実施する広域集客イベントの開催支援

(仮称)仙台お宿安全安心おもてなし宣言

- ・宿泊施設における感染防止対策等紹介
- ・業種別感染防止ガイドラインに沿った対策を講じていることや、テレワーク、ワーケーション対応可などを特設HPで発信

新たなコンテンツの創出

- ・仙台の歴史や文化、自然景観などの既存資源と、最新技術を融合させたコンテンツを創出し、話題性・新規性の高い新たな観光スポット化を目指す

エリア別ブランディング

- ・西部、中心部、東部など特徴的なエリアに着目したブランディング
- ・地域の事業者等とともにブランディングを実施

体験プログラムのさらなる発展

- ・さらに幅広い層にプログラムを体験してもらう仕掛け
- ・体験プログラムの認知度を向上させるイベント等の開催
- ・体験プログラム創出支援事業者向け研修会・交流会

文化やスポーツの活用

- ・文化やスポーツなどのイベントで訪れる方を宿泊に繋げる仕掛け

仙台5大まつりの魅力向上

- ・青葉まつり、七夕まつり・花火、ジャズフェス、YOSAKOI、光のページの魅力向上
- ・収益力と地域経済への波及効果の向上

MICE誘致強化

- ・経済波及効果の高い企業系会議等の誘致
- ・中心部商店街や仙台城跡など、仙台らしさを演出するユニークベニューの開発
- ・地元事業者等との連携によるMICE受入体制の強化